

令和4年7月7日

報道機関各位

## 謎の樹木はキリギシナニワズと命名されました

岨山（芦別市）で樹木の新変種を発見

分類不明の樹木が空知地方、芦別市にある岨山（きりぎしやま）に分布することが知られていましたが、このたび道総研林業試験場の研究者らのグループがカムチャツカナニワズの変種キリギシナニワズと決定・命名し、学術誌で発表しました（写真は次頁）。カムチャツカナニワズは同試験場の研究員らが国内で初めて斜里町で発見し、2020年に発表した樹木です。今回はその変種が200km以上離れた内陸にあることがわかりました。

岨山は石灰岩の露頭が続き（次頁）希少植物が多く、これでキリギシを冠する固有植物が3種類になりました。

## ◎この発見のポイント

植物研究が進んだ日本で新しい樹木が見つかることはたいへん希です。

キリギシナニワズは白い花を咲かせることなどがカムチャツカナニワズと共通するものの、葉の枚数、根の形態などが異なる、岨山だけに分布するジンチョウゲ科の低木です。

この樹木の学名は *Daphne kamtschatica* Maxim. var. *kirigishiensis* N.Nitta & Ken Sato と決まりました。

これまで岨山からはキリギシアズマギク（1971）、キリギシソウ（1989）が発見されており、キリギシを冠する植物は3種類目です。

変種とは：植物分類学で種、亜種に次ぐ下位の分類群。主要な形態は共通するが、地理的に隔離されており、いくつかのはっきりした違いが遺伝的に固定されている場合に使用されることが多い。

◎標本は北大総合博物館、道総研林業試験場でご覧いただけます。

◎実物は林業試験場でご覧いただけます。開花は4月下旬～6月上旬。

◎発表したタイトルと雑誌名

Noritoshi NITTA<sup>a</sup> and Ken SATO<sup>b</sup>: A New Variety of *Daphne kamtschatica* (Thymelaeaceae) from Mt. Kirigishi, Central Hokkaido, Japan

新田紀敏<sup>a</sup>、佐藤謙<sup>b</sup>：北海道中央部岨山に認められたカムチャツカナニワズの新変種キリギシナニワズ（ジンチョウゲ科）

The Journal of Japanese Botany/植物研究雑誌 Vol. 97 No. 3 2022年6月20日発行

a：林業試験場、b：北海学園大学名誉教授・北大総合博物館資料部

◎北海道の植物に詳しい研究者（今回の発見に関するコメントをいただけると幸いです。）

高橋英樹 北海道大学名誉教授・北大総合博物館資料部

また、植物写真家の梅沢俊氏がこの植物に詳しく、図鑑に載せています。

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）

森林研究本部林業試験場 保護種苗部保護グループ（担当者：専門研究員 新田紀敏）

電話 0126-63-4164 ※平日 8:45～17:30 土・日・祝日・年末年始はお休みです。



石灰岩の露頭が続く険しい嵯山。現在は植物保護のため入山制限がされている。



嵯山の岩峰直下に咲くキリギシナニワズ。丸内は花のアップ。白い岩は石灰岩。